

中国残留邦人等に関わる 介護・医療関係者研修会

～研修会内容～

- ◆中国残留邦人の概要
(当センター所長 尾形正行)
- ◆中国残留邦人の体験談
(山形県在住 帰国者1世 笹原キヌ子さん)
- ◆中国残留邦人の生活習慣や考え方
(山形県支援相談員・帰国者2世 小林百合子さん)

研修会には、介護・福祉の現場で、実際に帰国者と関わっておられる方々が出席され、帰国者ご本人の口から語られる壮絶な体験の数々、苦難を明るく前向きに乗り越えてこられた体験に、涙を拭いながら耳を傾けておられました。

笹原さんは、過去の辛い体験を思い出すことは、とても苦しく、講演前の1週間は眠れなくなるとおっしゃいます。それでも、帰国者に対する理解を深めてほしい、二度と戦争を繰り返してはならないというメッセージを伝えるために、快く講演を引き受けてくださっています。

残留婦人と残留孤児、帰国者本人と配偶者によっても状況は異なりますが、言語面での不安を抱える孤児世代にとって、介護・医療サービス利用時の困難が具体化するの、まさに今、これからと言えます。



当センターでも、まだまだ手さぐりの段階ではありますが、帰国者や、関係機関・支援者皆さまのご意見を伺いながら、より濃やかな支援に努めてまいります。

【秋田県秋田市：平成26年12月5日】

与遗华日本人等相关 护理・医療関係者研修会

～研修会内容～

- ◆遺華日本人概要
(本中心所長 尾形正行)
- ◆遺華日本人体験談
(山形県居住 帰国者一代 笹原キヌ子女士)
- ◆遺華日本人の生活習慣及思维方式
(山形県支援相談員・帰国者二代 小林百合子女士)

研修会上、有工作在护理・福祉の第一线、在实际工作当中与归国者有着密切接触的诸位前来参加。倾听着由归国者本人亲口讲述的一个又一个壮烈的经历，以乐观的态度



战胜困难的体验，在场的各位都不禁潸然泪下。

笹原女士叙述：每当回想起过去的悲惨经历时都十分悲痛，在演讲的一星期前每天都夜不能寐。尽管如此，为了唤起人们对归国者的理解，也为了向世人呼吁战争再不可重演的心声，她还是欣然接受了演讲的邀请。

虽然残留妇人和残留孤儿、归国者本人及其配偶者的状况都各自不同，但对在语言方面存在不安的孤儿世代而言，在利用护理・医疗服务时所面临的困难状况，的确是目前乃至今后所面临的课题。

本中心在此方面的支援也正处于摸索阶段，我们也将听取归国者及有关机构・支援者们意见的同时，为归国者们提供更加细致入微的支援而努力。

【秋田県秋田市：平成26年12月5日】

(参考) 介護研修情報：中国帰国者定着促進センター HP内
<http://www.kikokusha-center.or.jp/bunka/daofu.html>

通訳者研修会 ～医療通訳編～

講師：認定NPO法人IVY理事西上紀江子氏

帰国者の方が安心して医療機関を受診するために医療通訳の存在は欠かせません。近年、そのニーズが高まる一方で、通訳者が現場で直面する課題も多様化しています。

現場での経験が豊富な西上氏の講義は、説得力と包容力に溢れ、毎回大変好評です。参加者は「医療通訳者にとって、母国語・対象言語・医療知識は、一生をかけて勉強するもの」との言葉に、改めて医療通訳の難しさと、「自身の通訳を振り返り、常に能力の維持、向上を図る」重要性を認識されたようでした。【宮城県仙台市：平成27年2月2日】

翻译研修会 ～医疗翻译篇～

讲师：認定NPO法人IVY理事西上紀江子氏

为了使归国者们能够安心地在医疗机关接受服务，医疗翻译成为不可缺少的存在。近年，这种需求日趋增长，翻译在实际工作中所面临的课题也日益多样化。

有着丰富实际经验的西上氏の讲义极具说服力和包容力，每回都备受欢迎。「作为医疗翻译，需要花费毕生的精力来学习母语・对象语言・医疗知识」的讲话，使与会者重新认识到医疗翻译工作的艰深和“时常反省自己的工作、保持并且不断提高自身水平”的重要性。

【宮城県仙台市：平成27年2月2日】

(参考) 医療通訳に関する資料：厚生労働省HP内
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000056944.html>



日本語教室・パソコン教室だより / 来自日语教室・电脑教室

★私たち、みんな70代！ 日本語教室「中級場面」

在籍9名の「中級場面」クラスを取材しました。担任の鈴木英子講師が“何よりも大切にしているのは、クラスの雰囲気作り”とおっしゃるとおり、明るく思いやりに溢れたクラスです。

お話好きな〇〇さんも、控え目な△△さんも、会話にちょっぴり自信のない□□さんも、言いたいことを安心して言える雰囲気があります。クラスメイトの発言にも、自然と「いいですね」と相槌が打たれ、「すばらしいですね！」と拍手が起こります。会話の掛け合いを楽しみながら、お互いを認め、尊重し合う、とてもすてきな皆さんです。

そういえば、鈴木講師もとってもほめ上手。ある日の授業、「入」という漢字の“イメージ”を尋ねられた受講生は、「人が、こうしている感じ」とジェスチャーで表現。すかさず「そうですね！私は、“上向きの矢印”をイメージしましたが、こちらの方がピッタリですね！」と満面の笑みで応じます。

平均年齢72歳の受講生は、勉強ができる喜びを胸に、先生や仲間と会うのを楽しみに、暑い日も寒い日も頑張っていて通って来られます。

お互いの身体を気遣い、励まし合って、切磋琢磨しながら、現在は、3月末の学習発表会に向けて猛練習中です。

★我们都已年过七旬！ 日语教室「中級場面」

对在籍9名の「中級場面」班进行了取材。

正像担任的铃木讲师所说的“在教室里营造良好的氛围最重要”，在这个班级里洋溢着其乐融融、互助互爱的气氛。

善于言谈的〇〇氏、谨慎小心的△△氏、对与人讲话缺乏自信的□□氏，在如此的气氛当中，大家都可以畅所欲言。对于同学的发言大家也都很自然地随声附和「真好」，并拍手称赞「精彩」。大家在享受欢谈的同时，彼此欣赏、尊重，每个人都十分出色。

如此说来，铃木老师也是夸人有方。有一天在上课时，当她提问到如何“想像”「入」这个字时，回答者用身体语言说「人的身体像这样」。她随即满面笑容地回应「原来如此！我联想的是“向上箭头的符号”还是你的回答恰到好处啊！」

平均年龄已是72岁的学生们，胸怀着对学习知识的喜悦，与老师和同学们能相见的渴望，大家都不惧酷暑严寒，坚持来中心学习。

挂虑着彼此的健康、互相鼓励、切磋琢磨，现在，大家都正在为三月末的学习发表会奋力练习着。



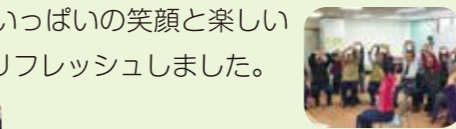
ボランティアさんとの交流の日

帰国者・ボランティア・講師、総勢50名が、体を動かし、テーブルを囲んで交流を深めました。

～第一部～ リフレッシュ体操

指導：リハビリテーション体育Reproud 横山知里氏

横山先生の元気いっぱい笑顔と楽しい体操に、心も体もリフレッシュしました。



横山先生「もっと前に伸ばして～」
参加者 「じゃまです！（お腹が）」

～第二部～ 1年を振り返って

グループ毎に、1年の感想、新年度の抱負を語りました。皆さんは、通訳を介さず、自分の言葉で一生涯懸命話しておられました。



【宮城県仙台市：平成27年2月27日】

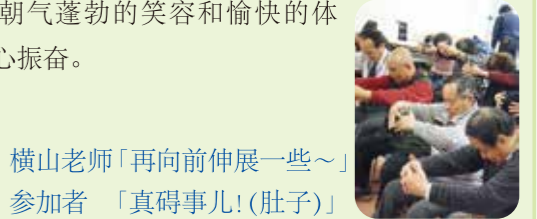
和志愿者的交流日

帰国者・志愿者・講師总计50名，大家活动身体，围坐在桌前加深了交流。

～第一部～ 轻松体操

指导：リハビリテーション体育Reproud 横山知里氏

横山老师朝气蓬勃的笑容和愉快的体操，使大家身心振奋。



横山老师「再向前伸展一些～」
参加者 「真碍事儿！（肚子）」

～第二部～ 回顾一年

在各自的小组里，大家畅谈了一年来的感想和在新年度里的抱负。无需翻译，大家都积极地用自己的语言来表达。



【宮城県仙台市：平成27年2月27日】